

SDGs宣言書








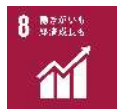









事業者名 インブルーブ

代表者名 門井和樹

私たちは、下記のとおり持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向け、とだ SDGs パートナーとなり、戸田市とともに取り組んでいくことを宣言します。

<宣言日： 2023年3月17日>

1 今後取り組む又は取り組んでいるSDGs目標（ゴール）（ を記入。）複数選択可

					○		
					○		○
	○				○		○
	○				○		
	○						

2 持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献するための活動内容

・SDG 3「すべての人に健康と福祉を」のターゲット 3.9「環境にやさしい化学物質や廃棄物の削減、管理を含む、大気、水、土壌汚染の低減」：電子名刺の普及により、名刺の印刷に伴う有害な化学物質や廃棄物の排出を減らすことができる。

・SDG 7「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」のターゲット 7.3「再生可能エネルギーの普及を促進し、エネルギー効率を改善する」：電子名刺を使うことで、紙名刺の印刷や配布にかかるエネルギー消費を削減し、再生可能エネルギーの普及を促進することができる。

・SDG 8「働きがいも経済成長も」のターゲット 8.4「すべての人々に働きがいのある職を提供し、経済成長を促進する」：電子名刺の販売によって新たな雇用を創出することができる。

・SDG 9「産業、技術革新と基盤をつくらう」のターゲット 9.4「持続可能なインフラストラクチャを構築し、産業化を促進する」：電子名刺を使うことで、情報のデジタル化が進み、ビジネスプロセスの効率化やスマートシティの実現につながる。

・SDG 11「住み続けられるまちづくりを」のターゲット 11.6「環境負荷の低減を含めた総合的な災害リスク管理と住民への警戒と警告を強化する」：名刺の印刷や配布を削減することで、紙の廃棄物を減らし、自然災害時の緊急対応をよりスムーズに行うことができる。

・SDG 12「つくる責任、つかう責任」のターゲット 12.5「廃棄物の削減」：電子名刺の販売が紙の名刺と比較して環境に与える影響が少なく、紙の使用量を減らすことができる。

ターゲット 12.8「持続可能な消費と生産に向けた情報と認知を促進する」：電子名刺の販売を通じて、社会に持続可能なビジネスプラクティスを広め、持続可能な消費と生産を促進することができる。

・SDG 13「気候行動」のターゲット 13.3「気候変動に適応する、またそれに対処する強靱な基盤をつくる」：電子名刺を使うことにより、名刺の印刷や配布のプロセスを削減することが出来る。

・SDG 15「陸の豊かさを守ろう」のターゲット 15.2「持続可能な林業を促進し、森林の保全、回復、再生を推進する」：電子名刺の販売が、森林伐採を減らし、森林資源の保全に貢献することができる。

・SDG 17「パートナーシップで目標を達成しよう」のターゲット 17.17「持続可能な開発のための実現可能な手段を促進し、知識を共有するための多面的な科学技術イノベーションパートナーシップを推進する」：環境に配慮した取り組みを進めることで、電子名刺の普及を促進し、科学技術イノベーションに関するパートナーシップの推進につなげることができる。

1で「 」を入れたSDGs目標(ゴール)の達成にどのように貢献するかなど取組内容を記載してください。